

日本岩石鉱物鉱床学会平成16年度第3回評議員会議事録

日時：平成17年9月22日(木)18:00~20:00

場所：愛媛大学 共通教育講義棟 講22

出席者：小畑会長，奥山，榊原，田切，西山，平島，藤巻，松原，吉田，荒井，石渡，板谷，榎並，大谷，佐藤，廣井各評議員(15名)，工藤会計常務委員、中村(美)会計監事，森下委員

欠席・委任状：小山内，鈴木，前田，宮嶋，有馬，土山，富樫，中川，中村(栄)，林，宮下

議題

・報告・承認事項

1. 庶務報告

吉田常務委員(小山内庶務常務委員代理)により平成16年度中開催の総会1回、学術講演会1回、合同大会1回、評議員会3回、常務委員会2回を開催したことが報告された。

2. 編集報告

西山JMPS副編集委員長より平成17年9月22日(木)のJMPS編集委員会、JMPSの発行及び編集状況の報告(詳細は総会記事参照)、ISIのimpact factorの引き上げのためJMPSの引用の増大の願いと2000年から2002年までのJMPS電子ジャーナル公開作業中であることが報告された。藤巻岩石鉱物科学編集委員長より、平成17年9月22日(日)の「岩石鉱物科学」合同編集委員会開催。岩石鉱物科学の発行及び編集状況の報告(詳細は総会記事参照)、2005年4月から「岩石鉱物科学」を電子ジャーナル公開中であることが報告された。

3. 平成16年度日本岩石鉱物鉱床学会総会に関する報告

吉田常務委員(小山内庶務常務委員代理)より、平成17年9月23日(金)11:30から行われる平成16年度総会の議題案が報告された。

4. 会員報告

平島会員常務委員により前評議員会後の平成17年5月22日から9月13日までの間について、会員動静の報告があった。この間の入会者は正会員4名、大学院・学生会員10名、復活3名で、退会は正会員7名、特別会員1名、不明1名、除籍6名。物故会員1名であった。平成17年度から永年会員には新たに6名が加わり計23名となった。

5. 行事報告

榊原行事常務委員より2006年合同大会は2006年5月14日(日)~18日(木)に幕張メッセ国際会議場において開催され、今回の正プログラム委員は角替敏昭会員、副プログラム委員は榎並常務委員をお願いすることになった。IMA2006Kobeが2006年7月23日(日)~28日(金)に神戸国際会議場で開催され、平成17年度日本岩石鉱物鉱床学会(臨時)総会 は2006年7月23日(日)~28日(金)に(IMAと同じ会場)で行われるとの報告があった

6. 平成16年度会計決算報告

工藤会計常務委員より平成16年度会計決算について報告された。

7. 平成16年度会計監査報告

中村会計監事より平成16年度会計監査が宮本・中村両会計監事により行われ、帳簿類、会計内容とも問題ないと確認されたことが報告された。

8. 平成17年度評議員選挙結果報告

吉田常務委員(小山内庶務常務委員代理)により平成17年度評議員選挙の開票結果について報告があり、諸氏が選ばれた。投票用紙配布数 678通 総投票数 260票 (有効投票 260票)

平成17年8月31日開票 選挙管理委員会委員長 林 謙一郎
代理:近藤 忠

評議員(任期2年平成17年9月1日~平成19年8月31日):15名
小山内康人,小澤一仁, 奥山康子,榊原正幸,鈴木和博,田切美智雄,中村美千彦,西山忠男,根建心具,平島崇男,藤巻宏和,前田仁一郎, 松原 聡,宮嶋 敏,吉田武義

<次次> 赤坂正秀

9. 学術会議および研連報告

大谷研連委員より報告された。

10. その他

1) 日本地球惑星連合報告

10月中旬に評議員会が開催され小畑会長が出席予定であることが大谷委員より報告された。

2) IMA2006 Kobe 報告

9月23日にIMA2006Kobe組織委員会が開催されることが大谷委員より報告された。

3) 2006 合同大会プログラム委員会報告

榎並委員よりレギュラーセッション「J030 岩石・鉱物・資源」は、2006年度も継続となったと報告された。

4) 9月10,11日に開催された Gondwana シンポジウム(北京)の報告が石渡評議員よりなされた。

5) 地学教育一般普及教育委員会報告

地球惑星科学連合発足に伴い、連合の教育関係委員会が改組された。教育問題検討委員会が招集・発足し、次期学習指導要領の改訂に向けて、高校必修理科の創設とその内容について、文部科学省、中教審等に提言を行った(7月29日、HP参照: <http://www.jpgeo.org/education/index.html>)。岩鉱学会からは、宮嶋委員が検討委員として参加した。鉱物学会地学教育委員会と、情報共有を進めている。

6) 国際惑星地球年、IYPE 報告

奥山委員より国際惑星地球年の事業提案の募集が始まったことが報告された。

7) 地質科学関連学協会連合報告

角替委員代理:吉田常務委員より第1回年代区分検討委員会が7月22日(金)に地質学会事務局にて開催されたこと、次回委員会を10月21日に行うことが報告された。

・審議事項

1. 平成17年度予算案

工藤会計常務委員により平成17年度予算案が諮られ審議し承認された。

2. 平成17年度会計監事の承認

吉田常務委員(小山内庶務常務委員代理)より平成16年度会計監事として後藤章夫(新規2年)、宮本 毅(継続任期1年)両会員の案が諮られ、承認された。

3. 岩鉱学会会計WGの検討結果報告と提案が大谷常務委員により下記のようになされ、審議し、承認された。

下記の項目について9月14日の常務委員会で報告承認された。

1) 現「雇用賞書」に記載してある業務内容について残業の対象業務の再検討(指定の有無も含む)が報告され、承認された。

2) 支出削減の為に「時間外労働の限度」の検討がなされ、工藤会計常務委員の予算案で実施することが報告され、承認された。

3) 残業の申請、認定、管理集計に関して、方法を確立して、あとで問題がおきないように工夫することが提案された。残業時間には上限(繰越金相当)を決めて、事務担当者にまかせることが提案され承認された。

また、残業をする場合、次のステップを行うことが提案され、承認された。

1) 残業の開始時と終了時に庶務にメールし、残業時間を記録に残す。

2) メール記録にもとづいて、残業の時間を毎月集計する。残業時間の記録は小山内庶務担当常務委員が毎月確認し承認し、相当額を支給する。

3) 以上の方法を成文化して、評議員会で確認する。

4. 第2回統合WG会議が9月10日に科学博物館で開催された報告が小畑会長よりなされた。

5. その他

IMA2006Kobe開催時の臨時総会開催と平成17年度総会の実施方法について下記のように報告、審議、承認された。9月14日の常務委員会で、小畑会長より、IMA開催時の臨時総会にお

いて、岩鉱・鉱物両学会の統合問題の可否の結論を出すことが了承された旨の報告が行われた。また、その時点では規約の制約上、通常総会で扱うべき事項（会計報告、予算案の承認、各賞委員会報告、選挙報告等）をメールや郵便を利用して通信承認として扱えることができるよう、この年度に限って規則・会則の付記（時限的付則）を設定する必要があることの報告が行われ、了承された。

-----運営細則第1条に関する時限的付則-----

1. 平成17年度は通常総会を開催しない。
2. 通常総会で行われる第1条(4)議事に関する報告および審議事項は、通信手段を利用して議決される。
3. 議題は評議員会の承認を経て、会長から提案される。
4. 正会員は会長に議決権を委任することができる。
5. 議決は委任状を含め通常総会の成立と同様に全会員数の10分の1以上の会員による投票を必要とし、投票者の多数決による。
6. 本細則は本会運営の平成17年度に適用し、平成17年10月1日から施行する。することとした。